

【活動事例の紹介】

教室名

江南南小学校区放課後子供教室

取組内容

(1) 実施内容

家庭・学校・地域が連携し子供たちを育むことを目的として、安心・安全な居場所を作り、自主性や創造性を育む様々な体験活動や地域とのふれ合い活動等を推進してきた。

第一回は、「みんなで作って遊ぼう！ペットボトルロケット&おもちゃ作り!!」を実施し、ペットボトルロケットと、ブンブンゼミ作りをコーディネーターが指導した。児童は作ったもので友達と一緒に楽しく遊ぶことができた。

第二回は、江南文化財センターから職員を招いて学校で勾玉作りを実施した。勾玉作りの説明を聞き、オリジナルの勾玉を作製した。



【ペットボトルロケット作り】

(2) 事前準備

第一回のおもちゃ作りでは、コーディネーターが用意した材料を使って制作した。ペットボトルロケット作りは参加者が各々でペットボトルを用意し、学校で準備したテーブルなどを使って制作した。

第二回の勾玉作りでは、地域の施設を積極的に活用する観点から、運営委員にも了承いただき、計画を進めてきた。会場は新型コロナウイルス感染防止のため入場制限を考慮して学校で行うことになった。体験活動に必要な資材については、江南文化財センターの方に準備をしていただいた。



【勾玉作り】

(3) 当日の様子

第1回は児童40名、第2回は児童35名と3人の文化財センターの職員が参加した。勾玉作りでは、古代での勾玉の使われ方を聞き、その形の意味について説明していただいた。その後、動画を活用して、作製の仕方を説明していただき、児童は自分なりの勾玉をデザインしていた。

工夫した点・ポイント

- 歴史的価値のある出土品が多い江南地区の歴史について学べるように、説明だけでなく体験活動も取り入れた。
- コロナ禍でも活動ができるように、参加人数を限定したり、消毒、換気を徹底したりした。

成果・今後の展望

- 参加した児童の中には以前の放課後子供教室で江南文化財センターを利用したことにより、江南文化財センターのイベントに参加した児童もいた。地域の施設を知ってもらうための一助となった。
- 江南文化財センターでは、「勾玉作り」以外に「土器作り」「土鈴作り」「鏡作り」「火起こし体験」ができるので、今後は参加した児童や保護者の意見を聞きながら、適切な内容を選んでいく。